

## 情報部会 部会記録

### 1 開会の挨拶

部会長 林 成佳 (大門)

### 2 研究発表

#### (1) 研究発表 I

「『情報 I』実施 1 年目の取り組みについて」

西川 彩香 (福岡)

1 年間を見通した教科指導の実施を目指し、令和 4 年度に取り組んだ内容が紹介された。グループワークを多く取り入れることで、「思考力・判断力・表現力等」の向上を図ることができたが、授業時数が少なく、学習内容の定着が図れていない生徒が見られたり、実習内容について十分に振り返ることができなかつたりするなど、各分野で成果と課題が見えた。単位数が少ない中でも思考力を育成する実習、演習の取り組み方を検討する必要があると報告された。

#### (2) 研究発表 II

「ヒント集としての『実践事例集』～2年目の情報 I 教育研究会～」

福田 匡孝 (情報 I 教育研究会・桜井)

「情報 I 教育研究会」による「事例集」の「個人情報の保護と利用」が紹介された。実際に授業で実践した結果、多くの生徒が利用している SNS と結び付けて考えるように授業展開を行うことができた一方で、設問や活動項目の多さから、時間内に全ての項目を実施できなかった課題も発見され、改善案を事例集改訂版に掲載することを検討中であると報告された。

### 3 全国高等学校情報教育研究大会参加報告

多賀 誠志 (高岡)

「情報科の挑戦～授業実践と大学入試～」をテーマとして開催された全国大会に参加された内容が報告された。2 日間の日程で行われた分科会やポスターセッションの様子がスライドで紹介され、次年度の全国大会の日程や、授業実践事例紹介サイトも併せて報告された。

#### 4 指導助言

県立学校課 吉田 壮志 指導主事

情報科の多くの教員は他教科の免許も保有していることから、教科等横断的な指導を積極的に行える利点がある。改めて学習指導要領の目標を確認し、旧科目である「社会と情報」や「情報の科学」の目標との違いを踏まえ、カリキュラムマネジメント取り組んでいただきたい。

教員は、職責を遂行するために、絶えず研修に努めなければならないとされている。研修会や研究会等の機会を積極的に活用し、指導力の向上に努めていただきたい。

#### 5 講演

「高校で教科『情報』を学ぶ意義 ～大学の視点から～」

富山大学 大学院教職実践開発研究科

教授 黒田 卓 氏

DX化が社会や教育にもたらす影響は何か、GIGAスクール構想で教師の意識はどのように変化したのかを振り返る必要がある。これまでの「知識・技能」中心の学びから、「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力・人間性等」をバランス良く身に付けるために、端末を有効に活用する必要がある。

また、教科「情報」は、「これからの時代に求められる学び」の学び方を考える唯一の教科と考え、単に大学入試共通テストの一科目としてしまうのではなく、社会のDX化の推進を支える人の育成に繋げていくことが大切である。

#### 6 閉会の挨拶

部会長 林 成佳 (大門)